

# 2015(平成27)年度第2回「子ども支援ネットワークづくり」推進教員研修会



第2回「子ども支援ネットワークづくり」推進教員研修会は、2日間とも、2講座分の時間を活用し、小グループで人権教育や人権学習についての意見交流や情報交換をおこないました。三重県人教の会員研修会と兼ねることで、人権教育に熱心に取り組もうとする多くの教職員が集まり、情報交換や活発な意見交流、討議の場となりました。ご参加いただいた推進教員の方には、ご自身が日頃取り組んでいることやそのなかで悩んでいることなどを話していただいたり、他地域の取組や人権教育の推進を担っている方の思いや考えを聞いていただいたりして、今後の取組にむけた展望をもっていただくことができたのではないかと思います。



## 講座① 地域での子どもの活動のこれから ～教育集会所が果たす役割～

○ゲスト：森中 さとみ さん（人権プラザ四日市）・濱口 愛 さん（朝熊教育集会所）

○12月24日（木）13：30～15：00

全同教大会でレポート報告していただいた四日市の地域の方とともに差別をなくす活動に取り組まれている人権プラザ太白・指導主事 森中 さとみさんと、全同教レポーター 朝熊教育集会所・人権教育指導員 濱口 愛さんから、それぞれの地域での取組や全同教大会で話し合われたことなどについて紹介、報告をしていただきました。

その後、参加者それぞれが勤めている地域での子どもの活動の現状や課題を交流し、教育集会所のこれからのあり方や育てたい子ども像、めざす方向性などについて、参加者の方と考え合いました。



### 参加者の感想より

○教育集会所の取組がわかりました。小さな地区の集会所の取組も知りたかったです。



## 講座② 「進路保障」について考える

○ゲスト：若山 公治（伊賀市立柘植中学校）

○12月26日（土）15：15～16：45

全同教大会「進路・学力保障」分科会レポーターの柘植中学校 若山公治さんから、小中連携を大切にしながら進めてきた取組のようすや、全同教大会で話し合われた内容や残された課題等について、報告をしていただきました。

そして、提供していただいた話題をもとに、「進路を保障するとは？」「仲間づくりや人権・部落問題学習がなぜ必要なのか？」などについて、考え合いました。三重県人教 会員研修会と兼ねて開催することにより、推進教員以外にもたくさんの参加者があり、活発な意見交流の場となりました。



### 参加者の感想より

- 具体的で他の学校の様子も知ることができてとてもよかったです。推進要員としてがんばってやっていかなければいけないことも見えてきたように思いました。
- 若山先生のご講演もとってもお気持ちが伝わってきてよかったですし、その後のグループの話し合いでも、職場の実態や悩みなどを話してくださる先生がいて、自分のことにおきかえて聞かせていただきました。
- 「継承」という言葉をこのごろよく研修会できいていました。“若い”先生方の思いをきけてよかったです。またグループで話をきかせていただいて、何のための人権教育カリキュラムなのか、何のための「子どもたちにつけたい力」なのかが自分のなかで整頓されたような気がします。
- マネすることから始め、オリジナルをつくっていきたいと思います。伊賀の教育からは学ぶことがたくさんあり、素晴らしい研修でした。
- いろいろな方のお話が聞けたこと、具体的な姿から成果や課題を議論できたことがとてもよかったです。このような研修会への参加をもっと拡げていかなければならないなあと思いました。
- 柘植中の先生から話が聞けるということで参加しました。若山先生をはじめ、ご一緒させていただいた先生方の思いや意見を聞くことができて本当によかったなあと思います。最後のグループの意見交流で出た「かたち」「場所」「気持ち」を活かして、学校としての課題、子どもたち一人ひとりの課題に向き合い取り組んでいけるようにしたいと思いました。

